

## 震災復興土地区画整理事業

# 鷹取東第一地区、完成

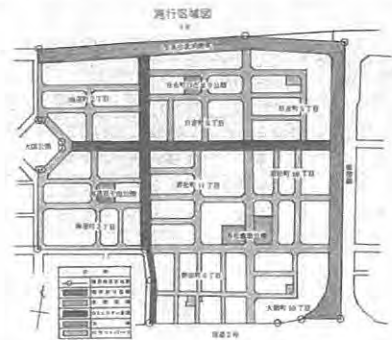
鷹取東第一地区震災復興土地区画整理事業は、平成13年2月21日に換地処分の公告を終え、事業が完成しました。阪神・淡路大震災からの復興土地区画整理事業として施行された被災地区内18地区（神戸市内では11地区）のなかで、最初に事業が完成した地区です。

鷹取東第一地区は被災前、鷹取商店街を中心とした店舗と戦前長屋等からなる、利便性の高い、いわゆる「下町」でしたが、その反面、狭小で老朽化した住宅が密集し、道路・公園等の都市基盤が不足しているという課題も抱えていました。

平成7年1月17日、地震と引き続いて発生した火災によって、地区内のほとんどの家屋が倒壊・焼失し、多くの人命が失われるという壊滅的な被害を受けました。

このまちを、安全で快適な住みやすいまちとして復興するため、神戸市は、地元まちづくり協議会を中心とした「住民参加のまちづくり」を実践し、平成7年11月に事業計画を決定し、本格的な復興に着手しました。そして翌平成8年8月には個々の権利者の宅地の仮換地の指定がはじまり、引き続いて9月には整地・道路等の工事に着手しました。

以後、順次事業を進め、僅か5年余で完成しました。



### ○地区および事業の概要

- ・面積：8.5 ha
- ・区域：長田区日吉町5・6丁目、若松町10・11丁目、海運町2・3丁目、大橋町10丁目、野田町4丁目
- ・被災前人口・世帯数：2,051人・905世帯
- ・被災状況：（全半壊+全焼）/全棟数(%)  
= (494戸+40戸)/550戸（97%）
- ・減歩率：最大9% ・事業費：約100億円



完成したまちの一部



鷹取第1地区の位置図

【4面へ続く】

# 第5期こうべ市民安全まちづくり大学 受講生募集のお知らせ

神戸市では、市民の皆さんが安全・安心について学び、地域のまちづくりに生かしていただくために、「こうべ市民安全まちづくり大学」を今年度も開講します。（共催：神戸大学都市安全研究センター、こうべまちづくりセンター）おかげさまで、毎期 200 名を越える多くの方に受講していただいています。

また、2つの講座を修了された方のうち第1期生 50 名、第2期生 58 名、第3期生 54 名、第4期生 44 名、合計 206 名が市民安全推進員として登録されました。推進員の中には、現在地域において「安全で安心なコミュニティ活動」で活躍されている方も大勢おられます。読者の皆さんでまだ当大学を受講されたことのない方は是非受講していただき、この「安全で安心なコミュニティづくり」の輪に加わってください。

今年度も、次のとおり2講座を開講します。

## ①入門講座のプログラム(予定)

防災や防犯についての講演・まちづくり実践者による活動報告等により、専門的知識を習得する講座です。

(定員 130 名、無料)

◇日時：9月から3月の毎月第1火曜日 午後6時30分～8時45分。(全7回)

◇場所：神戸市教育会館（中央区中山手通4-10-5、TEL. 222-4111）

	日 程	講 演 テ ー マ ・ 講 師	実 践 報 告 な ど
1	9月4日 (火)	「安全で安心なコミュニティづくりを進めるために」 室崎 益輝 氏 (神戸大学都市安全研究センター教授)	《活動報告》 ○地域のまちづくりリーダー
2	10月2日 (火)	「災害の恐ろしさ」 河田 恵昭 氏 (京都大学防災研究所教授)	○まちづくりコンサルタント
3	11月6日 (火)	「いざという時に備えて～危機管理の心」 林 春男 氏 (京都大学防災研究所教授)	○防災福祉コミュニティのリーダー
4	12月4日 (火)	「神戸で再び大地震は起こるのか？」 石橋 克彦 氏 (神戸大学都市安全研究センター教授)	《事例報告》
5	1月8日 (火)	「防災と市民力」 立木 茂雄 氏 (同志社大学文学部教授)	○兵庫県警察本部
6	2月5日 (火)	「市民が創る安全・安心－神戸市を考えよう」 清永 賢二 氏 (日本女子大学人間社会学部教授)	～神戸における犯罪の傾向について～
7	3月5日 (火)	「神戸の土砂災害について」 沖村 孝 氏 (神戸大学都市安全研究センター教授)	

## ②まちづくり講座のプログラム(予定)

地域で住民の皆さんとともに楽しみながら安全なまちづくりを進めていくためのいろいろな手法を身につける、参加型の講座です。(定員 50 名、無料)

◇日時：9月から2月の毎月第3火曜日 午後6時30分～8時45分。(全7回)

◇場所：こうべまちづくり会館（中央区元町通4-2-14、TEL. 361-4523）

	日 程	テ ー マ	内 容
1	9月18日 (火)	地域の課題について考えてみよう	地域の課題やその解消法など、まちづくりに関することを話し合います。
2	10月16日 (火)	コミュニティ安全マップとは	地域活動に役立つ「安全マップ」について、作成の意義や方法を学びます。
3	未 定 (土又は日)	実際にまちを歩いてみよう	実際にあるまちを、みんなで手分けして歩きます。
4	11月20日 (火)	安全マップをつくろう	まちあるきの成果をマップに仕上げます。
5	12月18日 (火)	安全マップの活用について	完成したマップを発表しあい、今後どのような活用の方法があるのか検討します。
6	1月15日 (火)	まちづくりの先進事例を研究しよう	神戸におけるまちづくりの先進事例を取り上げ、みんなで研究します。
7	2月19日 (火)	安全で安心なまちづくりを考えよう	最後に、安全で安心なまちづくりをどう具体的に進めていくか、みんなで考えます。

受講を希望される方は、右の事項を希求して葉書又はFAXで下記までお申し込みください。詳しくは、パンフレット（あじさい市民大学・夏号）をご請求ください。

申し込みの締切は7月31日(金)必着です。

多数のご応募をお待ちしています。

応募・問い合わせ先

〒650-8570（住所記入不要）

神戸市 市民局 安全企画課

Tel(078)322-6238 Fax(078)322-6031

### （応募時に必要な事項）

○氏名（ふりがな） ○住所 ○性別  
○生年月日・年齢 ○電話番号 ○職業

○（有れば）所属される地域団体及び役職

○希望講座

※2講座同時に申し込むこともできます。

※なお、定員がありますので、応募多数の場合、抽選となります。ご了承ください。

## アメリカ（サンフランシスコ）におけるまちづくりと地域主権（その1）

### ■はじめに

現在、地方分権の推進がトピックとなっているが、私は、個人的には「地方主権」というフレーズが好きであり、今後のまちづくりでは理想と思っている。神戸市のまちづくりに対するこれまでの取り組みは、地方主権の先駆けを担ってきた。アメリカは歴史的にみても、その開拓者精神により、州や市単位で地域の自主性と独自性により、趣が違った地域主権型のまちづくりを実施している。

今回のシリーズでは、私が訪問したサンフランシスコにおける公共事業やその他の事例の取り組みのいくつかを報告したい。第1回目は、現在の業務と関連のあるサンフランシスコ国際空港（SFO）拡張事業と地下鉄延伸について紹介したい。

### ■サンフランシスコ国際空港（SFO）拡張事業

SFOは、サンフランシスコの南約14マイルのサンフランシスコ湾に沿った埋立地にあり、乗降客全米第5位の24時間空港である。特長は、エアポートが、独立採算の行政区であり、管理運営が、空港委員会といういわゆる行政委員会により任されている。

現在、国内線を含む既存施設の総床面積約20万㎡が、増築する国際線ターミナルだけで、さらに23万㎡追加されゲート数も96に増加させる拡張工事が行われている。旅客総数は、約4000万人から（うち国際線は690万人）、2005年には、5000万人になると予想されている。

さすがに国土の広大なアメリカの航空社会に圧巻させられ、好景気に支えられさらなる都市の発展を遂げようとしているサンフランシスコそのものである。

事業運営は、90年代初めに採択された空港拡充のマスタープランにもとづき（総額約28万ドル）、すべて空港ディストリクトの発行するボンド（債権）により賄われる。債権は、GAR B（General Airport Revenue Bond）と呼ばれている。償還は、着陸料と駐車場、店舗のテナント収入である。空港委員会のウィルソン氏の案内で、建設中の南ウイング・ターミナルを見学した。スケールの広大さに驚きを感じるとともに、ゲート間の移動距離が非常に長くなるため、新交通システムによる空港内環状線の整備も合わせて行っている。

総工費の1%を彫刻などのパブリック・アートに割り当てる「1%プログラム」も採用している。将来計

画については、現在4本の滑走路があるが、交差しており同時着陸ができず効率が悪いので、新滑走路を湾を埋め立てて建設する構想を持っている。

### ■BART（地下鉄）空港線延伸事業

BART（Bay Area Rail Transit）は、サンフランシスコ湾のベイエリア諸都市を結び、'72年にオープンした。SF市内の6駅を含み、現在39駅、総延長は149キロに及び。SFOの拡張に合わせ、2001年度末を目標にBARTの延長工事が急ピッチで進んでいる。現在の延長工事は、SF市の南にあるコルマー駅（完成済）から、南へ空港を経由して、ミルプレー市への建設工事を実施している。

連邦航空局の規定により、空港敷地内ではターミナル駅以外の駅は建設できない（治安確保）。そのため、都心のSF市と南のミルプレーからのそれぞれの上下路線は、直接おのおの空港ターミナルへ向かう（空港経由なしの三角接続）。建設にあたり、自然環境保護にも力を入れており、工法や、湾沿岸は、湿地帯に指定されており、絶滅種のヘビを保護するため、保護ワイヤ（ネット）が張り巡らされている（1匹殺すと罰金2万ドル）。延長工事を実施するにあたり、'90～98年に過去3度の住民投票があった。①南への延長計画②空港への乗り入れ③空港線延長計画全体。しかし、いずれも、住民の州規模の賛同を得て、承認された。案内してくれたBART・SFOのプランナーのマルティネリ氏も、「確かに事業が遅延するのも事実だが、住民が最も重要なパートナーです。もちろん、まちの将来に対する住民の自己責任の強さが前提です」と強調された。アメリカ版地域主権の一端を感じるところがある。



SFO拡張とBART延長全景

藤重 敏郎（神戸新交通㈱ 総務課総務係長）

【1面からのつづき】

完成した鷹取東のまちは、震災前に比べてより安全で快適なまちになりました。具体的には、  
○道路では

・震災前には、各町内には狭小な私道が多くありましたが、区画道路を新設し、宅地の利用増進を図っています。

・鷹取商店街の道路を、新たにコミュニティ道路として整備し、快適性にも配慮した整備を行っています。また、電線類の地中化も行いました。

○公園では

・区画整理事業により、4ヶ所の公園と3ヶ所のポケットパークを新設しました。これらの施設は、住民の皆様のご意見を積極的にとり入れて設計し、それぞ

れ特長のあるものになっています。

○安全なまちづくりのために

・新設の4ヶ所の公園のうち2ヶ所には、地下に耐震型防火水槽(100t)を設置しました。  
・公園とポケットパークには防災器具を備えた倉庫を設置しました。

○共同建替

・この地区の特徴として共同建替による住宅が多く建てられたことがあげられます。

狭小な宅地の所有者や借地人がそれぞれの土地を一か所に集約し、再建組合を結成し共同マンションを建てる方式により5住宅189戸が完成しています。これによって多くの方が、これまで通り住み慣れた地域での生活再建を果たすことができました。

# まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
7月 5日(木)～10日(火)	神戸愛写道写真展	神戸愛写道
7月12日(木)～15日(日)	書友クラブ神戸支部(書道)	平田 栄
7月16日(月)～17日(火)	藍染で描く大自然	白野 佳男
7月19日(木)～24日(火)	第20回 西神土葉会展(油彩)	西神土葉会
7月26日(木)～31日(火)	ヴェネツィア旅情高橋喜久雄写真展	高橋 喜久雄
8月 2日(木)～ 7日(火)	日本画柏樹会展	左野 柏樹

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

7月 2日(月)～15日(日)	「水環境フェア2001 in 神戸」河川パネル展	建設局河川下水道部
7月16日(月)～31日(火)	こうべ照明探偵団夜景100選	都市計画局計画部

図書販売のお知らせ

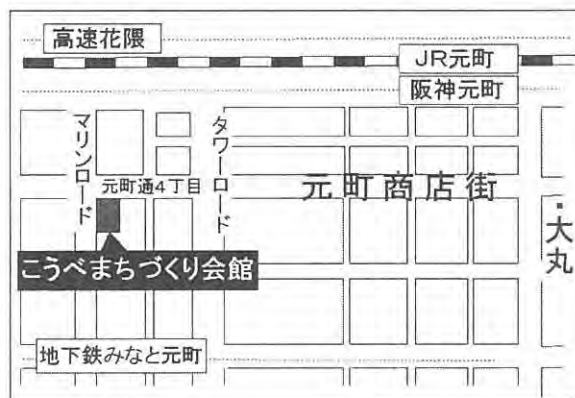
協働のまちづくり・すまいづくり —震災復興土地区画整理における共同建替の記録—	¥1,500	別途送料を申し受けます。 申し込みは、当センターまで
--	--------	-------------------------------

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター  
(こうべまちづくり会館 3F)  
電話 078-361-4377 FAX 078-361-4584  
受付は、月・火・木・金曜の午前10時～午後5時
- 土・日・祝日は  
コミュニティ相談センターで受け付けます  
(こうべまちづくり会館 4F)  
時間は、午前10時～午後5時

自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター  
(こうべまちづくり会館 4F)  
会報等の印刷サービスや学習会へのインストラクター派遣など  
受付:午前10時～午後6時(水曜・年末年始は休館)  
電話 078-361-4565



最寄駅

地下鉄海岸線みなと元町駅西口から北へ徒歩1分  
(平成13年7月7日開業)  
高速花隈駅東口から南へ徒歩3分  
高速西元町駅東口から東へ徒歩5分  
JR・阪神元町駅西口から西へ徒歩8分